

平成 27 年度 西予市地域包括支援センター 事業報告

I 基本方針

高齢者が住み慣れた地域で、継続して尊厳あるその人らしい生活を送れるように支援することを目標とする。そのために、地域の保健・医療・福祉サービスや各種社会資源等の地域包括ネットワークを構築し、できる限り要介護状態にならないように、包括的・継続的に支援した。

II 長期目標

地域包括ケアシステムの推進に向けて保健・医療・福祉の連携と住民活動等インフォーマルな活動や地域資源を活用したネットワークの構築に努めた。

III 短期目標

- ・地域ケア会議による地域課題の抽出と関係者の連携・情報共有
- ・ハイリスク者を把握するための高齢者実態把握
- ・自立支援を目指したケアマネジメントの実践（新しい総合事業を見据えて）
- ・認知症対策の推進協力（普及啓発活動の更なる取組）
- ・元気な高齢者を増やすきっかけづくり（楽しみづくりの場の提案）

IV 事業実施状況

1 包括的支援事業

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

基本チェックリスト実施後、二次予防事業対象者と決定された人に対し、運動器機能向上・栄養改善・口腔機能向上等の介護予防事業参加に必要な介護予防マネジメントを実施し、要支援や要介護状態になることを防ぐ。

- ① 二次予防事業対象者へのケアマネジメント：102 人
(評価まで修了者：85 人 途中辞退者等：17 人)

通所型運動器機能向上事業	
宇和・明浜地区運動器機能向上事業	
和気接骨院（柔道整復師指導）	10 人
西予総合福祉会 歩（理学療法士指導）	49 人
三瓶地区筋力トレーニングマシンによる筋力向上トレーニング教室	
メディット 21（健康運動指導士指導）	19 人
野村地区運動機能向上事業	
あけぼの治療院（理学療法士指導）	24 人

- ② 地区サロンでの健康相談・健康講話（市内全域） 20回 502人
- ③ 高齢者の集い（社協事業）等開催時の健康相談（野村地区） 14回 529人
- ④ 生きがい活動支援通所事業での健康相談（野村・城川地区） 21回 193人
- ⑤ 脳卒中家族会の支援 1回/2か月開催・生活習慣病や介護保険制度についての講話や自分史を作成の後方支援
- ⑥ 地区サロン等での認知症予防講座の開催 20箇所、延べ人数 293人

⑦ 認知症予防講座（脳はつらつ教室）の開催

ア 対象地区：明浜地区

イ 期間：平成27年6月18日～7月16日、同窓会 平成27年12月3日

ウ 場所：狩江公民館

エ 時間：13：30～15：30

オ 回数：1クール5回（他、同窓会1回）

カ スタッフ：西予市地域包括支援センター職員、西予市高齢福祉課職員

キ 講師：調理実習 西予市明浜支所生活福祉課栄養士
音楽療法 音楽療法士

ク 内容：ファイブコグ検査、回想法、音楽療法、生活習慣や運動についての講話、認知症予防の食事についての講話及び調理実習、介護保険・権利擁護についての講話、元気だせいよ体操

ケ 参加人数：実人数 21人、延べ人数 100人（平均年齢 80.7歳）

コ アンケート結果（一部抜粋、回収率 81%）

<内容について>

良かった	ふつう	良くなかった
84%	6%	6%

<良かった内容は？> 複数回答可

ファイブコグテスト	57%	西予市の認知症施策の講話	38%
元気だせいよ体操	43%	お菓子づくり	24%
音楽療法	67%	口腔ケア	43%
認知症予防の講話	62%	調理実習	48%
介護保険・権利擁護の講話	52%	合唱	52%

<これからも続けていきたい事>

- ・人との対話。何年も前向きでいたい。自分の好きな事（野菜作り等）を続けていきたい。

- ・何とは言えないが教わったことを少しずつ続けていきたい。
- ・認知症予防の色々事
- ・体操、口腔ケア、調理実習
- ・誘われたらできるだけでていきたい。
- ・頭の回転など（グーパー・パーゲー）、ひざたたき、すりすりなど、風呂の中で声を出して歌う。
- ・ファイブコグテスト
- ・これから出席できる行事があれば出ていきたい。
- ・認知症予防の食事づくり、音楽療法、合唱等自己の健康管理

⑧ 野村地区認知症予防教室（町）/西予市野村支所生活福祉課との共催

- ・参加人数：実人数 14 人、延べ人数 126 人/9 回/1 クール
- ・平成 28 年度から「自主グループ」として活動する。

⑨ 介護予防事業：高齢者イベントの開催

ア イベント名：輝けシニア！実りの祭典

イ 対象地区：野村地区

ウ 実施期間：平成 27 年 4 月 20 日～9 月 26 日

エ 実施形態：実行委員会による。

オ 実行委員会の構成：野村地区民生児童委員協議会、野村町老人クラブ連合会、西予市商工会野村支部、野城総合福祉協会、JA 女性部野村支部、西予市高齢福祉課（現 長寿介護課）、西予市野村支所生活福祉課、西予市社会福祉協議会、西予市地域包括支援センター

カ 介護予防事業全課程：参加延べ人数 372 人

(ア) 認知症予防居室（着物リメイク教室）

実人数 15 人、延べ人数 79 人（5 回/1 クール）

(イ) メイクアップ教室 20 人（1 回/1 クール）

(ウ) ウォーキング教室 111 人（3 回/1 クール）

(エ) ネイルファッションコーディネート 17 人（1 回/1 クール）

(オ) イベント 来場者数 550 人

・第一部 講演会、第二部 シニアファッションショー

・参加人数 リハーサル 55 人、ファッションショー出演者 52 人

(カ) 同窓会 39 人

キ イベント当日のアンケート結果：配布数 297 回収数 266 回収率 90%

<性別>

男	女	無回答
---	---	-----

21%	74%	5%
-----	-----	----

<年齢>

10代～	20代～	30代～	40代～	50代～	60代～	70代～	80代～	90代～
2%	0%	1%	3%	5%	23%	39%	26%	1%

<住所>

野村	城川	宇和	明浜	三瓶	その他
87%	3%	6%	1%	1%	3%

<このイベントの情報入手経路> 複数回答可

家族・知人	ポスター・チラシ	CATV	社協ホームページ	無回答
59%	18%	11%	9%	4%

<講演会について>

良い	ふつう	良くない	無回答
82%	5%	1%	12%

<シニアのファッションショーについて>

良い	ふつう	良くない	無回答
79%	5%	0%	16%

<ロビー展について>

良い	ふつう	良くない	無回答
73%	18%	1%	8%

<感想> (一部抜粋)

- ・すばらしい皆さんの姿に感激した。
- ・何があってもあきらめないその気持ちを持ち続けていきたい。
- ・毎年あれば面白い。高齢化社会、年一度くらいやってほしい。
- ・何歳になっても目標を持っていきたい。
- ・皆さん若返りわん曲した足もスマートに美しく10歳も若く見えました。
- ・かわいい人形作り方の資料があれば作りたい。
- ・ファッションショーという目的を持つことで高齢者が輝いています。輝いている高齢者を見ると私たちの未来が明るくなります。涙が出るほどうれしくなります。これからもファッションショーを続けてほしいです。

(2) 総合相談支援事業

住み慣れた地域で安心して生活できるよう、高齢者の実態を把握し、適切なサービスや関係機関、制度の利用につなげるよう支援する。

① 地域住民へ地域包括支援センター及び介護予防事業の啓発・PR

- ・民生児童委員協議会、老人クラブ、サロン、見守りネットワークづくり研修会等
- ・市広報誌、社協便り

- ・CATVや新聞等メディアによる広報

② 各種相談

- ・民生児童委員、見守りネットワーク推進員、区長、地区住民等からの情報や本人及び家族、または医療機関の地域医療連携室、居宅支援事業所の介護支援専門員や福祉事業関係者からの相談、面談及び戸別訪問等により実施
- ・行政や保健所より個別な訪問依頼
- ・相談内容（延べ件数）

相談内容	件数	前年度比
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	886	+10%
権利擁護（成年後見制度等）に関すること	50	+29%
高齢者虐待に関すること	28	+20%
合計	964	+13%

③ 高齢者実態把握

- ・目的：早期対応に必要な高齢者を把握する。
- ・方法：民生児童委員へ担当地区で早期対応が必要と思われる高齢者に対して、アンケート調査の協力依頼し、その結果を受けて対応する。
- ・対応の方法：該当者を取り巻く関係機関からの情報収集や当該高齢者宅を訪問し、その結果を民生委員と情報共有
- ・相談件数及び実態把握数 21人

④ 介護・福祉・認知症出張相談所開設

地区	件数	備考
明浜	1	奇数月に開催
宇和	0	毎月第1月曜日に開催
野村	3	偶数月に開催
城川	0	奇数月に開催
三瓶	0	偶数月に開催
合計	4	

⑤ 福祉体験教室の開催

対象	内容	実施地区	人数
小学生	高齢者疑似体験・車いす介助等体験実習	宇和・三瓶地区	134人
中学生	高齢者疑似体験・車いす介助等体験実習	宇和・城川地区	72人
小・中学生	認知症講座	明浜・宇和地区	416人

(3) 権利擁護事業

- ・ 成年後見制度や権利擁護事業の利用を支援する。
- ・ 高齢者虐待防止に関する相談支援を行う。

① 成年後見制度・権利擁護事業活用支援

- ・ 相談のあった事例に対する必要に応じた関係機関との連携による支援

② 高齢者虐待防止に関する広報・啓発

- ・ 介護支援専門員、サービス事業者、介護予防係、高齢福祉係などからの情報による事例を通じた住民への啓発

③ 困難事例への対応

- ・ 本人の状態（心身・経済など）、家族環境などにより関連機関や多職種連携での対応が必要な事例については、各専門機関と情報を共有した支援
- ・ 個別地域ケア会議開催

④ 認知症対策

- ・ 認知症地域支援推進員と協働で認知症ケアパス（あんしんノート）を普及
- ・ 認知症徘徊 SOS 模擬訓練実施

ア 実施日：平成 28 年 2 月 11 日

イ 実施形態：実行委員会による。

ウ 実行委員会の構成：野村地区民生児童委員協議会、野村町老人クラブ連合会、西予市商工会野村支部、野村町若葉会、野村地区婦人会、野城総合福祉協会、西予警察署野村交番、公民館、野村地域自治振興協議会、地区区長会、西予消防署野村支署、西予市高齢福祉課（現 長寿介護課）、西予市野村支所生活福祉課、西予市社会福祉協議会

エ 参加人数：96 人（小学生、野村チャレンジ隊や一般市民、グループホーム等介護保険事業所等を含む。）

オ 内容：野村町町地区の一部において徘徊高齢者（モデル）への声かけ対応訓練

カ 事前講座：平成 28 年 1 月 31 日開催、受講人数 76 人

- ・ 認知症サポーター養成講座の開催

サポーター養成数 946 人/22 か所（前年度比 +11%）

- ・ サロンでの認知症予防講話
- ・ 認知症予防教室開催（明浜・野村）

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- ・地域の介護支援専門員が円滑に仕事ができるよう支援や指導を行う。
- ・医療機関や関係機関とのネットワークづくりを行う。

① ICTクラウドシステム「kintone」事業

ア 事業説明

- ・地域包括ケアシステム構築に向けてクラウドを活用し、多職種連携、顔の見える関係づくりを行うことができるシステム運用を目指す。
- ・ユーザー間での意見交換や各機関からの情報提供がリアルタイムでスピーディーに行える。
- ・短期入所の空き情報等介護保険サービスの情報が、いつでも検索できる。

イ ユーザー数：210 ユーザー（平成28年3月末現在）

ウ 参加団体：西予市・西予警察署・西予市消防署・西予市医師会・認知症疾患医療センター・西予市民病院及び西予市立野村病院地域医療連携室・西予市社会福祉協議会・西予市内居宅支援事業所介護支援専門員・西予市内介護保険サービス提供事業所等、地域包括ケアシステムを担う関係機関が参加

エ その他

- ・四国情報推進協力会会長表彰受賞
- ・視察受け入れ：愛媛県保健福祉部長等、千葉県習志野市議会、鳥取県米子市議会、香川県中讃広域行政事務組合、埼玉県さいたま市議会

② 介護支援専門員ネットワークの体制構築

- ・西予市介護支援専門員連絡会の開催
- ・介護支援専門員対象の研修会の開催
- ・困難事例を抱える介護支援専門員への個別援助
 - ☞ ケアプラン作成指導を通して介護支援専門員へのケアマネジメント指導を行った。

サービス担当者会議への出席	150回
委託プランの評価	275件
生活援助（同居家族がいる場合）の算定シート確認	31件
ロングショートの詳細確認	10件

③ 西予市主任介護支援専門員連絡会の開催

- ・質の向上のため研修と情報伝達
- ・主任介護支援専門員地域リーダー養成研修会の参加
 - ☞ 広域の主任介護支援専門員との地域別演習
 - ☞ アンケート調査の実施（調査対象：民生児童委員150人、調査内容：介護

支援専門員との連携について)

④ 関係機関との連携づくり

- ・介護保険事業所連絡会 月1回 (宇和・野村)
- ・事例を通じたケア会議適宜開催
- ・高齢者サービスガイドブックの作成
- ・資源マップの作成のための情報収集と企画
- ・障がい者担当部との連携会議の開催
- ・各地区民協定例会等への出席
- ・警察署・消防署との連携強化及びケア会議の開催

⑤ 医療機関との連携づくり 1回/週

- ・市立病院カンファレンス (2病院、各1回/週) に出席し入院患者の退院支援及び転院や施設入所の支援
- ・地域医療連携室との情報交換
- ・各地域ケア会議の継続・内容充実
- ・公立病院看護部、リハビリテーション部との連携会議の開催

⑥ 地域のインフォーマルサービスとの連携づくり、各種連携会議

- ・関係機関との連携づくり

会議等名称	開催回数
個別地域ケア会議	5
ケアマネ連絡会	6
主任ケアマネ連絡会	6
連携せいよ	4
連携なんよ	1
虐待対応会議	5
認知症研究会	1
包括運営協議会	1
「kintone」運営委員会	3
「kintone」ユーザー連携会	1
介護保険事業所連絡会	宇和 12/野村 12
介護相談員連絡会	11
介護相談員事業所連絡会	1
地域密着型サービス事業者連絡会	1
保健・医療・介護連携会議	1
地域リーダー養成研修会における地域との関わり	5

GH 運営推進会	16
西予警察署との連携	1
西予消防署との連携	1
学校教育との連携（福祉体験教室・認知症サポーター講座を利用）	4
管内包括連絡会	4

・医療機関

会議等名称	開催回数
市立病院カンファレンス（西予市民病院：火曜日、野村病院：木曜日）	96
認知症疾患医療センター連絡会	2
野村病院との連携会議	4

・地域インフォーマル等

会議等名称	開催回数
民協定例会	10
サロンリーダー研修会	1
脳卒中家族会	3

・地域包括支援センター内

会議等名称	開催回数
包括三職種会議	6
包括連絡会	12
高齢福祉課包括連絡会	2

・ボランティア

会議等名称	開催回数
西予おれんじサークル	1

・地域包括支援センターのPR等周知について

会議等名称	開催回数
CATV等での包括について周知	4
社協事業への参加の際にPR	9

2 介護予防日常生活支援総合事業

(1) 第1号介護予防支援事業

事業対象者等に対し、総合事業によるサービス等が適切に提供できるようケアマネジメントを行い、心身の状態の維持・改善を目指すように支援する。

① 事業対象者のケアマネジメント

・実施件数：	19件
うち 指定介護予防支援事業所実施分	13件
指定居宅介護支援事業所委託分	6件

介護報酬（平成 28 年 3 月分）

93,700 円

	平成 28 年 3 月分	合計（件）
実施件数	19	19
地域包括支援センター	13	13
委託	6	6
市内	5	5
市外（県内）	1	1
市外（県外）	0	0

② 新総合事業のサービスに関してプランの評価

③ 初回予防プランを包括内で回覧

④ プラン勉強会や検討会の開催

(2) 介護予防支援事業

要支援 1・2 と認定された人に対し、介護予防プランを作成し、介護サービスを利用しながら心身の状態の維持・改善を目指すように支援する。

① 要支援 1・2 の方へのケアマネジメント

- ・実施件数 7,922 件
 - うち 指定介護予防支援事業所実施 5,952 件
 - 指定居宅介護支援事業所委託分 1,970 件

② 介護報酬（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月決定分）： 34,737,600 円

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施件数	646	649	653	657	661	657	679	675	681	666	662	636	7,922
包括	490	498	502	503	507	498	514	510	503	491	483	453	5,952
委託	156	151	151	154	154	159	165	165	178	175	179	183	1,970
市内	152	145	146	150	150	155	160	160	168	167	172	177	1,902
市外（県内）	4	6	5	4	4	4	5	5	10	8	7	6	68
市外（県外）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③ 要介護認定者で福祉用具購入あるいは住宅改修の希望の人に対しケアマネジメントの実施（ケアプラン作成無し）

- ・福祉用具購入支援件数：22 件
- ・住宅改修支援件数：34 件